

平成24年度 第8回教育研究評議会議事録

日 時 平成24年12月19日（水）14時30分～16時05分

場 所 事務局大会議室

出席者 伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、船橋、杉山、佐藤、寺村、
今野、梅澤、國宗、塩川、荒川、酒井、西原、増田、塩尻、東郷、
星野、佐古、鈴木、渡邊修、糠谷、永津、渡邊尚、三村、田中、村井、
加藤の各評議員

欠席者 青山委員

陪席者 大戸、徳山の各監事
中村、佐藤の各学長補佐

I 議事録の承認について

平成24年度第7回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 教員の個人評価に関する実施要項を廃止する要項について

浅利委員から「教員データベース」を活用した部局の教育・研究等の情報発信実施要領が定められたこと（H24.12.7評価会議承認）による、標記実施要項の廃止について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2 静岡大学ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの策定について

石井委員から、学部及び大学院における、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラムポリシーについて、資料2により説明があり、審議の結果「農学部学位授与の方針」中、「学位（農学）」を「学士（農学）」に修正したほかは、原案どおり承認した。

なお、同委員から、今後、本ポリシーについて、情報公開のための英訳版を作成することによる協力依頼があった。

また、議長から、各部局における本ポリシーについて、構成員が共通認識するよう要請があった。

3 平成24年度学位記授与式及び平成25年度入学式について

総務部長から、平成24年度学位記授与式及び平成25年度入学式について、資料3により説明があり、審議の結果、学位記授与式（案）中、「卒業生代表謝辞」及び「先輩講話」の「人文社会科学部」を「人文学部」に修正したほかは、原案どおり承認した。

4 教員の休職について

増田委員から、病気休職中の創造科学技術研究部教授を、引き続き平成24年12月30日から平成25年3月29日までの3か月休職とすること、病気休暇中の理学部准教授を、平成25年1月13日から平成25年2月28日までの1か月26日休職とすること、東郷委員から、病気休暇中であった工学部助教について、平成24年12月22日から勤務可能の診断は得ているが、今後、病気休職となる可能性も想定されることから、休職確認書による期間の休職について、事前に了承を得たい旨の提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 学生の懲戒について

杉山委員から、学生の懲戒について、別添資料により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 学長候補者の決定について

鈴木委員から、学長選考会議（H24. 12. 17開催）により決定した学長候補者について、資料4により報告があった。

引続き、伊東学長から次期学長候補者として挨拶があった。

2 国家公務員退職手当等の一部改正について

総務部長から、国家公務員退職手当法等の一部改正についての説明及び本学の対応の方向性について、資料5により報告があった。

なお、議長から、同法の改正を踏まえて、本学役員及び教職員の退職手当を引き下げることにについては、今後、組合交渉を経て経営協議会及び役員会で承認を得た上で実施していく旨の発言があった。

3 企画戦略会議報告

議長から、第8回企画戦略会議（H24. 12. 5）について、資料6により報告があった。

4 経営協議会議報告

議長から、第5回経営協議会（H24. 12. 7）について、資料7により報告があった。

5 ミッションの再定義の状況等について

山崎委員から、①ミッションの再定義にかかる文部科学省との打合せスケジュール（教員養成系12/20、電子工学研究所12/25、工学部未定）等について、②後発の部局に対し、浅利副学長を中心に順次説明会を開催していることについて、報告があり、議長から、重点とするポイントにおける客観的なデータを、事務局と協力してとりまとめる必要があるとの発言が

あった。

なお、新内閣発足による今後の予算への影響(大型補正予算の実施、平成25年度概算要求の見直し等)が見込まれる旨の発言があった。

また、概算要求事項における附属静岡小学校の校舎改修及び総合研究棟(農学部)については、平成24年度経済危機対応・地域活性化予備費を使用した要求の前倒しとして認められたこと、また現在概算要求で出されている事項は本予備費の対象事業となる旨の報告があった。

6 農学部と国立研究院樹木・木材研究所(イタリア共和国)との部局間交流協定(更新)の締結について

村井委員から、標記部局間交流協定(更新)の締結について、資料8により報告があった。

7 教員採用等報告について

議長から、人文社会科学部5件、教育学部5件、農学部1件の教員採用等報告について、資料9により報告があった。

なお、船橋委員から、女性教員の採用比率が昨年度と比較して低下していることから、女性研究者(教育者)採用加速システムを利用し、女性の雇用を促進するよう依頼があった。

8 平成23年度決算検査報告について

山崎委員から、平成23年度決算検査報告について、資料10により国立大学法人等に関する指摘事項について報告があり、今後においても、適正な運用を行うよう要請があった。

なお、大戸監事から、その他独立行政法人において、合理的理由の認められない保有固定資産については、売却の促進及び国庫への返納が求められていることから、本学においても、指摘のあったおしか荘の利用促進策を講じたように、その他施設等についても保有の可否を検討する必要があるのではとの発言があった。

IV その他

1 文部科学省教育関係共同利用拠点(農場)(演習林)認定記念農業ビジネス起業人育成コンソーシアムシンポジウムについて

鈴木委員から、標記シンポジウムの開催(H24.12.21開催)について、資料11により案内があった。

なお、議長から、農学部附属地域フィールド科学教育研究センター持続型農業生態系部門(農場)及び森林生態系部門(演習林)が「教育関係共同利用拠点」に認定されたことに伴い、積極的に本センターを利用するよう発言があった。

以 上